

令和4年度 第2回福岡大学病院医療安全監査委員会
(Web 会議)

日 時 令和5年2月13日 14時30分～15時30分
形 式 事前配布資料を基にしたオンライン会議 (Web 会議)
受 審 福岡大学病院
出席者 監査委員：〔委員長〕古賀 和徳、深川 直美、中村 圭佑 (産業医科大学病院)、
坪井 義夫 (院内委員)、欠席：林 覚竜 (南蔵院)
陪席：木戸 敦子、嶋津 聖子 (医療安全室)
福大病院：和田 秀一、川崎 弘詔、白石 武史、小吉 里枝、押川 麻美、長尾 美沙子、
川原 義弘、今村 健、浜内 和也、中村 伸理子、頼永 桂、佐々木 克英、
平井 友樹

監査事項

1. 死亡時画像診断(Ai)について
2. 非周術期患者の深部静脈血栓リスク評価と対策について
3. IC 説明文書作成から登録までの流れについて
-医療安全管理部門がどのように関わっているか-
4. 体重、身長などの誤入力を医師・看護師・薬剤師などがチェックするシステムやマニュアルがあるか

【講評】

1. 死亡時画像診断(Ai)について

死亡時画像診断運用手順に関しては 2014 年にすでに整備されていたが、事案が発生した際、まずは当該診療科から病院長および医療安全管理部長の許可を得る必要があった。2021 年の改定では当該診療科から直接、病院長に許可を求める流れを改め、医療安全管理部長に連絡後に Ai の依頼が直接できるように運用手順が簡略化されており、現場に即した内容となっている点については大いに評価できる。しかしながら、今年度はわずか 1 件しか実績がなく、病院の規模からすると少ない印象を受けた。平日の日勤帯であれば、原則日常診療終了後の撮影となるなど、放射線部門でのハードルがやや高いのではないかと考えられた。また、結果は放射線科医からの口頭でのコメントのみで、その後の Ai 結果検討会や Ai 結果報告書の作成はなされていない。確かに死亡時画像画像読影指針が十分に確立されているわけではないが、死因究明につながる有益な情報が得られる可能性がある以上、病理解剖の同意が得られなかった場合の一助として、Ai 体制のより一層の充実を図っていただきたい。

2. 非周術期患者の深部静脈血栓リスク評価と対策について

「静脈血栓塞栓症のリスク評価アセスメントシート非手術症例」に基づき、リスク評価と対策が実施されている。さらに今年度、多職種による静脈血栓塞栓症ワーキンググループを立ち上げ、いろいろな取り組みがなされている。まずはガイドラインが見直され、もともと

非手術症例のリスク評価対象を「成人で ADL が低下している患者」と定めていたところ、医師からの様々な意見や日本循環器学会等合同のガイドラインを参考に「16 歳以上の入院患者」に変更されている。また、リスク項目やリスクレベルに応じた予防法なども改定され、担当医が使いやすいアセスメントシートとなっている。次期電子カルテシステムへの移行を踏まえた運用を計画中とのことであり、移行後の運用状況などはまた機会があれば確認したい。

前回の委員会（令和 4 年度第 1 回医療安全監査委員会）で当院が「弾性ストッキング（ASO 患者禁忌）」と表示されるようシステム改修を行なった旨を紹介したところ、リスク評価アセスメントシートの予防法の項目内に早速取り入れていただいているのを確認できた。紙面を借りて感謝申し上げる次第です。

3. IC 説明文書作成から登録までの流れについて

-医療安全管理部門がどのように関わっているか-

貴院でのインフォームドコンセントガイドラインにて、多職種で構成される「インフォームドコンセントに関する委員会」が中心となって適切に整備・運用されているのを確認できた。委員会には医療安全管理部長、ならびに医療安全管理者が出席しているため、申請された同意書や説明文書に不備があれば的確に指摘、修正がなされるものと思われる。今後も引き続き医療安全の観点から同意文書等の質の担保・向上に貢献していただきたい。

4. 体重、身長などの誤入力を医師・看護師・薬剤師などがチェックするシステムやマニュアルがあるか

最近、当院で化学療法を受ける入院患者で、電子カルテのオーバービューから SpO₂ 100% と入力したつもりがその直上の体重入力欄に（結果的に体重 100kg と）誤入力し、薬剤師が 100kg 換算で払い出しして過量投与となった事例が発生したことから、今回監査項目にあげた次第です。貴院でも今のところ体重、身長等の誤入力をシステム上でチェックできる機能は実装されていないようであるが、入力画面のアラート機能を活用している、とのこと。貴院でも上記事例の共有をしていただくとともに、次期電子カルテシステムへの移行の際にチェック機能が搭載可能かご検討いただければ幸いです。

以上

令和 5 年 3 月 8 日

福岡大学病院医療安全監査委員会

委員長 古賀 和徳

（産業医科大学病院 医療の質・安全管理部長）